

7月  
から

# いわきネウボラを実施

特集



## 安心してゆとりを持って、 出産・子育てができるまちへ

### 出産・子育て支援の 新たな事業

少子化、核家族化など社会の変化に伴い、地域で妊産婦やその家族を支える力が低下し、妊娠・出産・子育てに関する不安や負担が増加しています。

市では、妊産婦や子育て世代の方の不安や悩みを解消し、安心して出産・子育てができる環境を整備するとともに、子どもの人権を守りながら、健やかな成長を支援するため、いわきネウボラ（出産・子育て総合支援事業）を、7月から実施します。

同事業は、妊娠期から子育て期にわたるまで、切れ目のない支援を行うための新しい支え合いの仕組みであり、相談・支援体制の整備や支援プランの作成など、さまざまな取り組みを行っています。

### 地区保健福祉センター が支援の拠点

相談・支援体制の整備として、地区保健福祉センターをワンストップ拠点とし、出産・子育て総合支援窓口を設置します。同窓口には、現在配置している子育てコンシェルジュに加え、保健師や看護師などの資格を有する母子保健コンシェルジュを配置します。

一つの窓口で、妊娠から子育てに関することまで、包括的かつ継続的に相談することができ、利便性が向上します。

また、妊産婦や子育て世代の方を対象としたさまざまな事業を展開します。

新たな取り組みの一つとして、妊娠期、産前・産後期、子育て期の三期にわたる支援プランを作成・交付します。母子保健コンシェルジュなどが妊産婦全員に面接を行い、一人一人に合ったプランを提案します。

他にも、妊産婦健康診査の補助の拡充など、既存の事業を見直し、さらなる充実を図っています。

○お問い合わせ  
こどもみらい課  
企画係  
☎22・7483